雜図、部

大正十二年九月十日
震災地應急測圖原圖

二万分一地形圖　七枚

陸地測量部

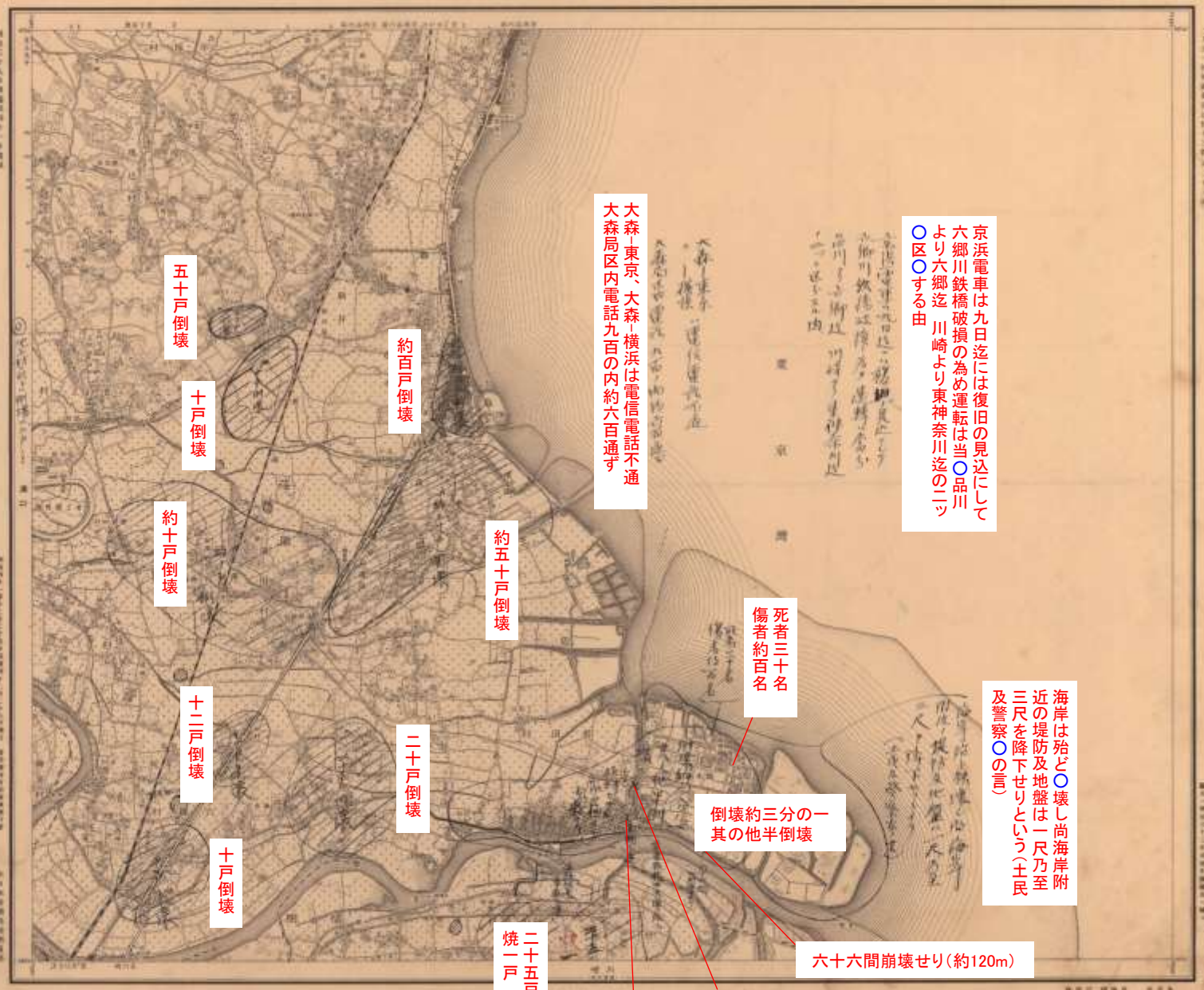
震災地応急測図原図（二万分一地形図） の記載内容

スライドページ	図名
3	二万分一地形図「大森」
4	二万分一地形図「川崎」
5	二万分一地形図「溝口」
6	二万分一地形図「神奈川1」
7	二万分一地形図「神奈川2」
8	二万分一地形図「横浜」
9	二万分一地形図「保土谷」

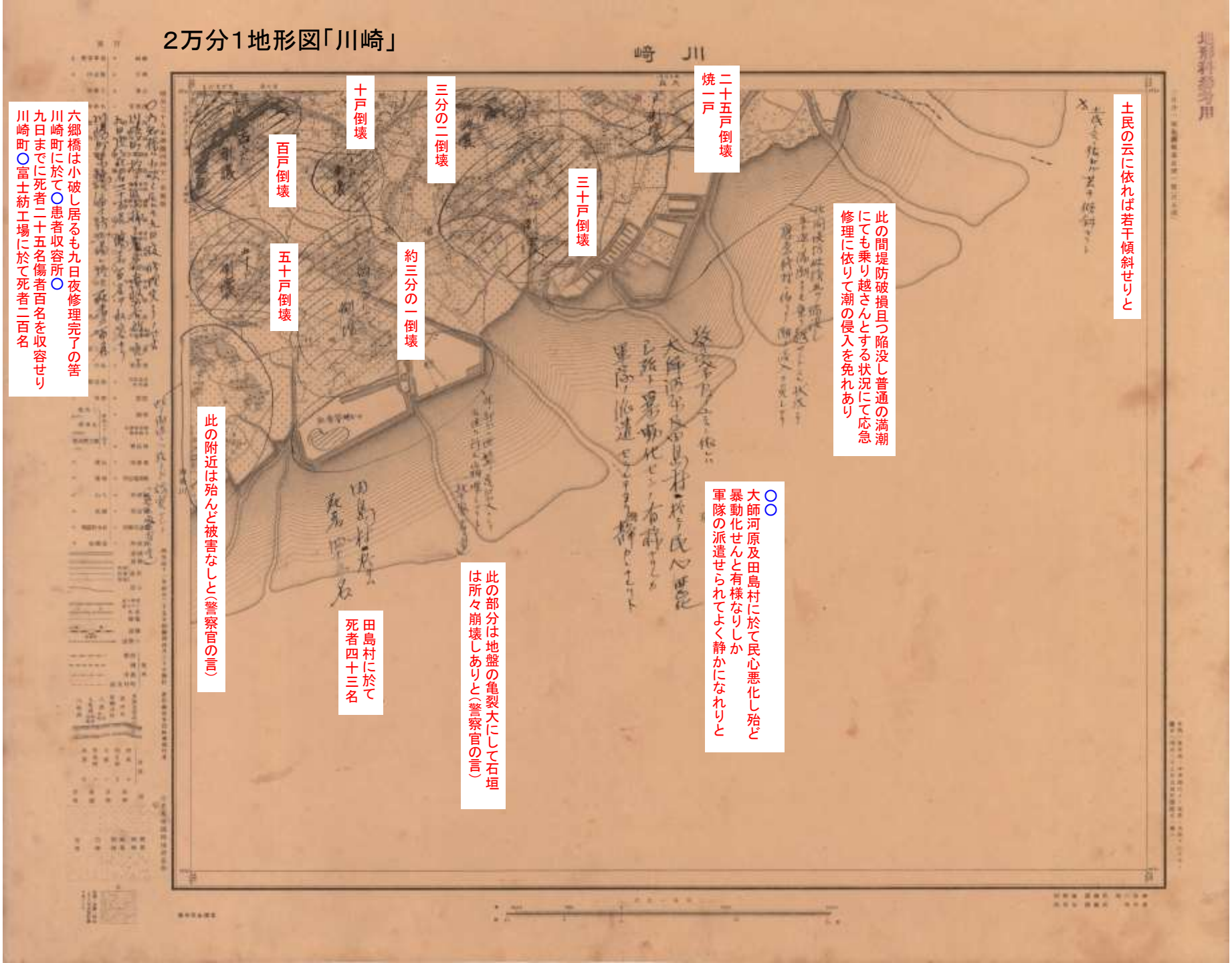
※赤字が現在の言葉に読み替えたものです
※原図に書かれている文字が解読できない場合は「○」にしています
※説明が密になる場合、適宜省いています

※本地理資料は、作成当時の資料をそのままの形で使用しています。
現代においては適切ではないと思われる表現を含む資料がある可能性もありますが、その資料が成立した時代を表す歴史的・学術的資料として、
ご理解・ご留意の上でご利用くださいますようお願いいたします。

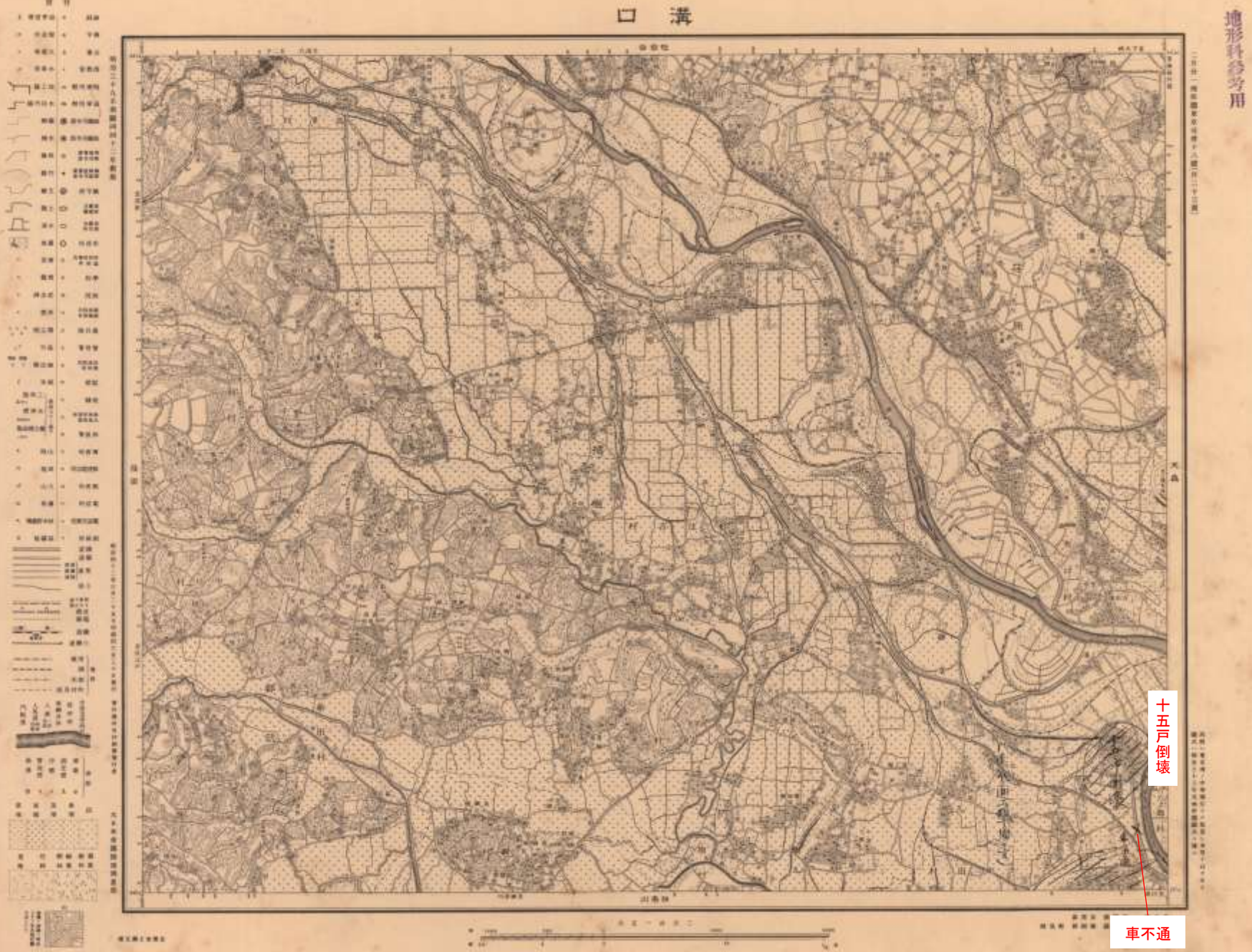
2万分1地形図「大森」


大森
京浜電車は九日迄には復旧の見込にして
六郷川鉄橋破損の為め運転は当〇品川
より六郷迄 川崎より東神奈川迄の二ツ
〇区〇する由
大森ー東京、大森ー横浜は電信電話不通
大森局区内電話九百の内約六百通ず
死者三十名
傷者約百名
海岸は殆ど〇壊し尚海岸附
近の堤防及地盤は一尺乃至
三尺を降下せりという（土民
及警察〇の言）
倒壊約三分の一
其の他半倒壊
六十六間崩壊せり（約120m）
電車鉄橋中央墜落す
車両不通
二十五戸倒壊
焼一戸
十戸倒壊
二十戸倒壊
約五十戸倒壊
十二戸倒壊
約十戸倒壊
十戸倒壊
五十戸倒壊
約百戸倒壊

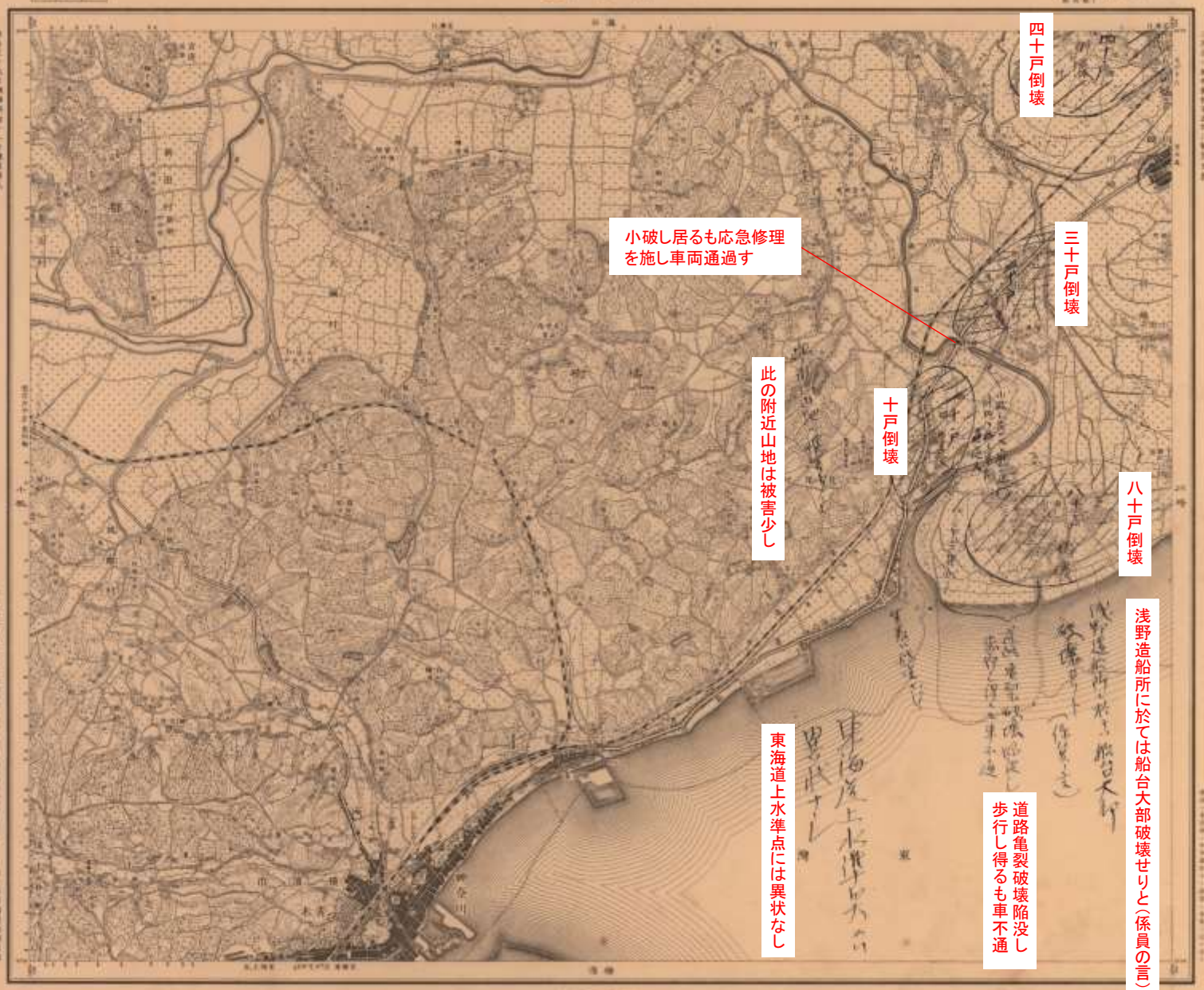
2万分1地形図「川崎」


川崎
土民の云に依れば若干傾斜せりと
二十五戸倒壊
焼一戸
三分の二倒壊
十戸倒壊
百戸倒壊
三十戸倒壊
五十戸倒壊
約三分の一倒壊
此の間堤防破損且つ陥没し普通の満潮にても乗り越さんとする状況にて応急修理に依りて潮の侵入を免れあり
○○大師河原及田島村に於て民心悪化し殆ど暴動化せんと有様なりしか軍隊の派遣せられてよく静かになれりと
此の附近は殆んど被害なしと(警察官の言)
田島村に於て死者四十三名
此の部分は地盤の亀裂大にして石垣は所々崩壊しありと(警察官の言)
六郷橋は小破し居るも九日夜修理完了の筈
川崎町に於て○患者収容所○九日までに死者二十五名傷者百名を収容せり
川崎町○富士紡工場に於て死者二百名

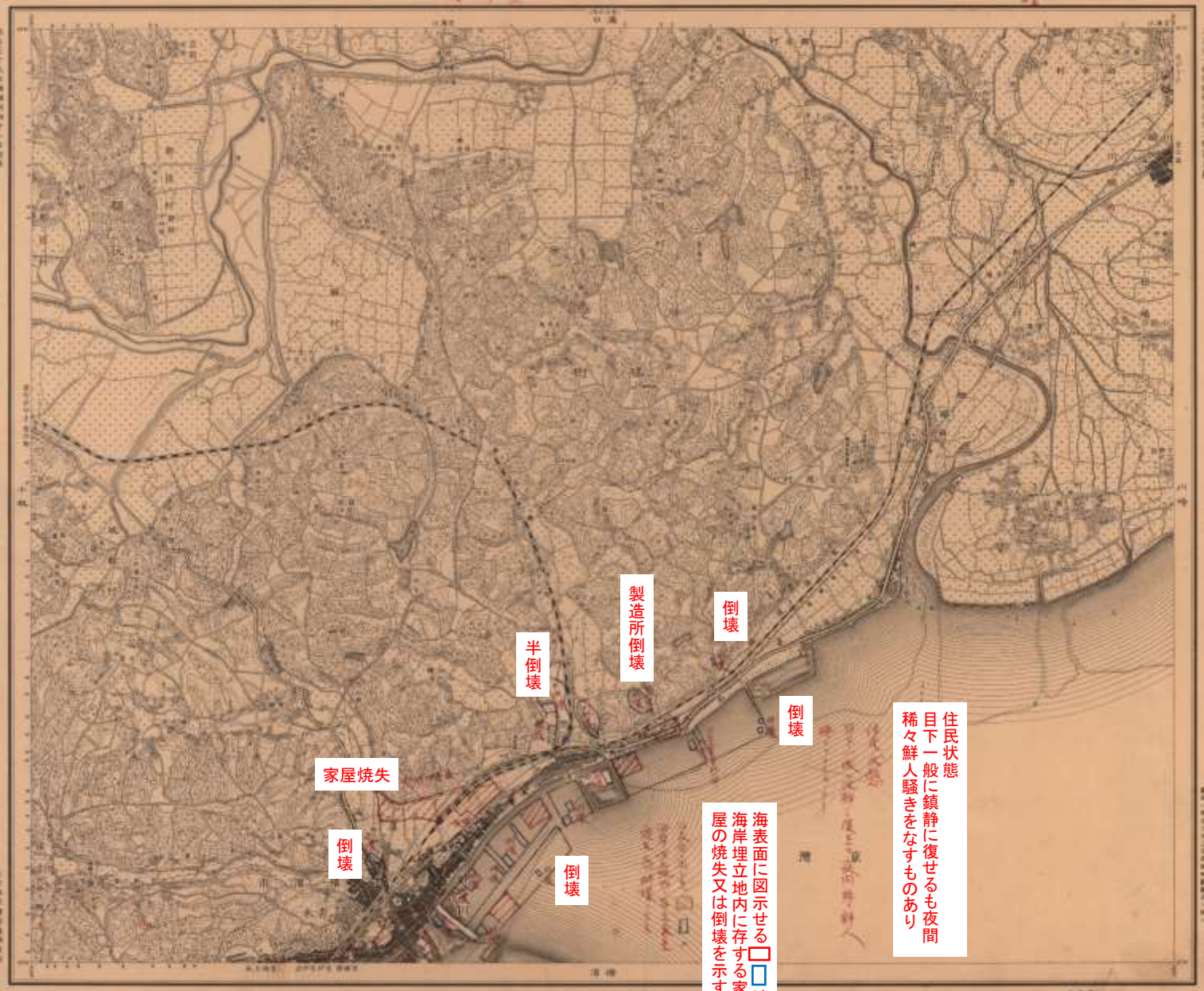
2万分1地形図「溝口」



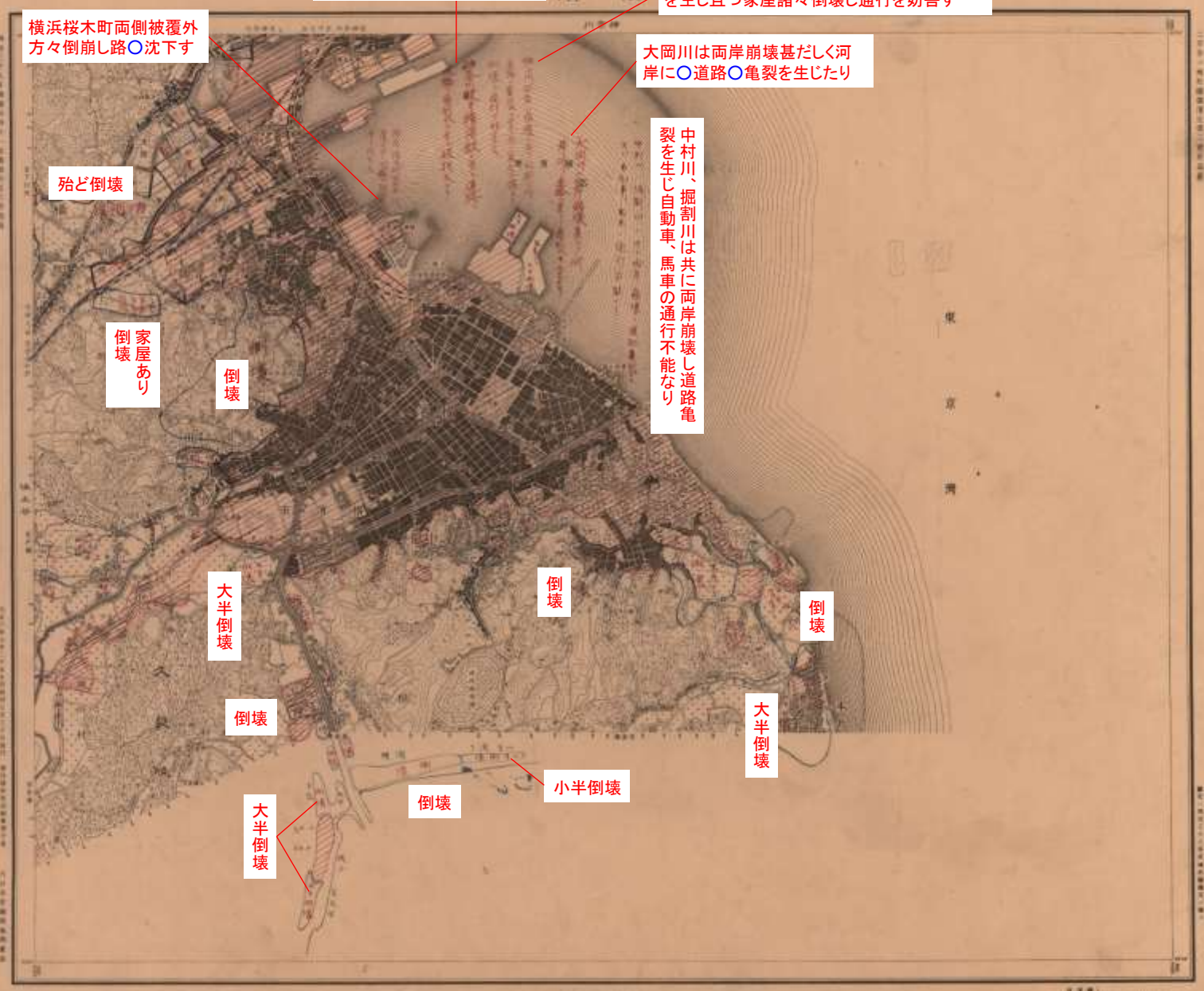
2万分1地形図「神奈川1」



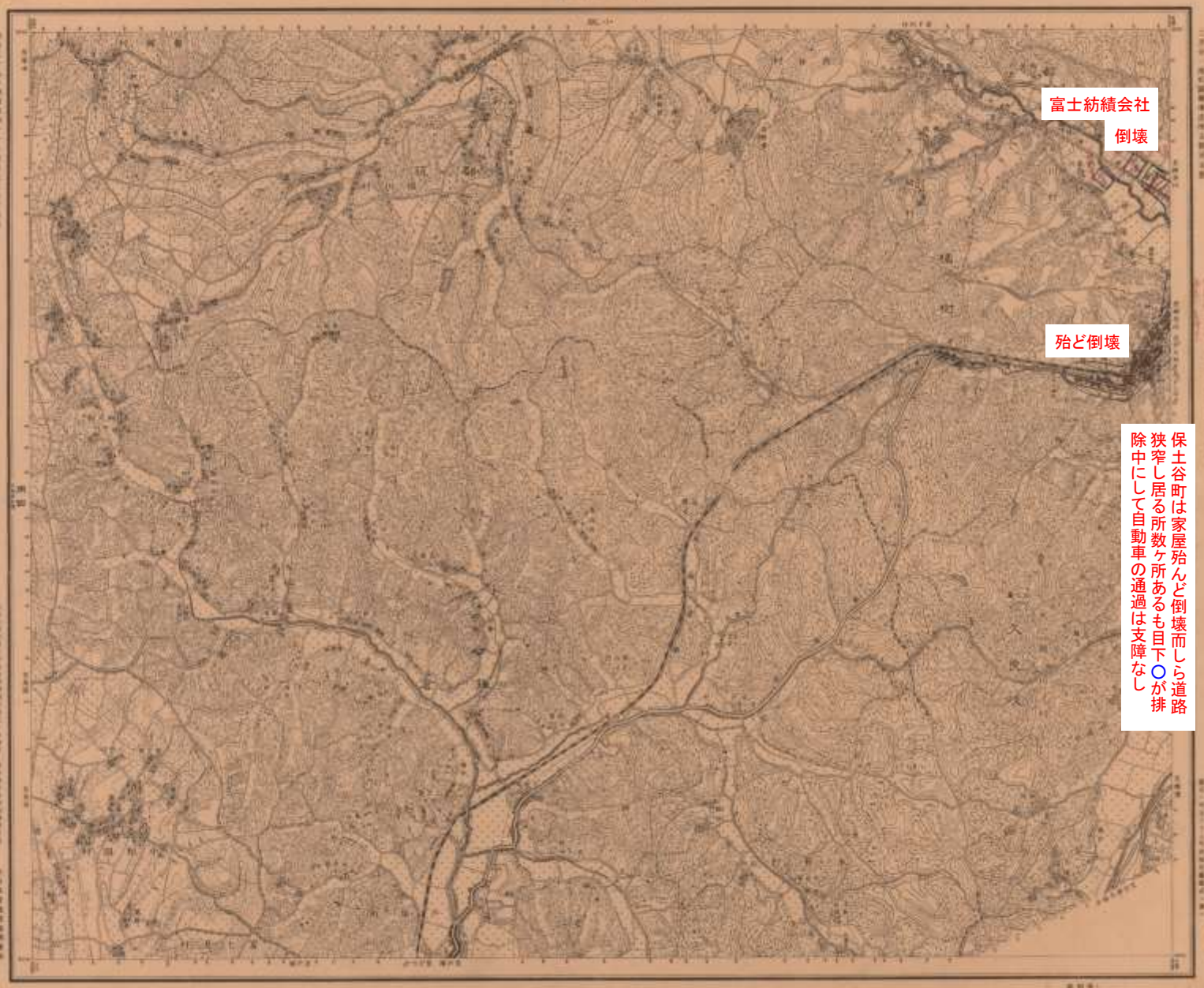
2万分1地形図「神奈川2」



2万分1地形図「横浜」


神奈川駅より横浜駅に至る道路○亀裂を生じ破損大なり
帷子川両岸は崩壊し且つ両側○道路は亀裂を生し且つ家屋諸々倒壊し通行を妨害す
横浜桜木町両側被覆外方々倒崩し路○沈下す
大岡川は両岸崩壊甚だしく河岸に○道路○亀裂を生じたり
中村川、掘割川は共に両岸崩壊し道路亀裂を生じ自動車、馬車の通行不能なり
殆ど倒壊
家屋あり倒壊
倒壊
大半倒壊
倒壊
倒壊
倒壊
大半倒壊
小半倒壊
倒壊
大半倒壊

2万分1地形図「保土谷」


保土谷
富士紡績会社
倒壊
殆ど倒壊
保土谷町は家屋殆んど倒壊而しら道路
狭窄し居る所数ヶ所あるも目下○が排
除中にして自動車の通過は支障なし